

株式会社 イーエムシステムズ  
 代表取締役社長 國光 浩三  
 (コード番号 4820 東証 第二部)  
 問合わせ先 取締役管理本部長 田中 英次  
 T E L ( 0 6 ) 6 3 9 7 - 1 8 8 8

## 業績予想 (連結・単体) の修正について

最近の業績の動向を踏まえ、平成 15 年 5 月 20 日の決算発表時に公表した平成 16 年 3 月期 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 16 年 3 月期 連結業績予想数値の修正 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,416	815	455
今回修正予想 (B)	7,804	634	283
増減額 (B - A)	611	180	172
増減率 (%)	7.3%	22.1%	37.8%
(ご参考) 前期 (平成 15 年 3 月期) 実績	7,468	705	430

#### 2. 平成 16 年 3 月期 単体業績予想数値の修正 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	6,911	763	427
今回修正予想 (B)	6,203	584	253
増減額 (B - A)	707	179	174
増減率 (%)	10.2%	23.5%	40.7%
(ご参考) 前期 (平成 15 年 3 月期) 実績	6,101	668	410

#### 3. 修正理由

調剤薬局事業に関しましては、堅調に推移しております。

調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業におきましては、厳しい状況で推移してまいりました。下半期につきましては、上半期の業績を回復すべく、新製品「Recepty」を投入し、また付加価値を向上するためのオプションとして、省スペース型薬袋プリンタの拡販を行ってまいりました。ネットワークシステム事業につきましても、調剤薬局情報共有化システム「NET-」、携帯端末における医薬・患者情報閲覧サービス「Mobility」の拡販を推し進め、ネットワークシステムを強みとして他社との差別化を図り、大型チェーン店等に対し提案してまいりました。

しかしながら、ネットワークシステム事業における大型商談の一部や、期末に投入した「Mobility」の投入効果が来期に持ち越されること、下半期において新製品「Recepty」の本格投入の遅れが影響し有償アップグレードの需要が来期へずれ込むなど、上半期の業績の落ち込みを回復するには至らず、通期予想より下回る見込みであります。

また、税効果処理等を修正したことが、当期純利益に影響しております。

よって、個別決算の業績予想の修正に伴い、連結決算の業績予想につきましても修正いたします。

1株当たりの配当予想につきましては、現時点では修正の予定はありません。

(注) 本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上